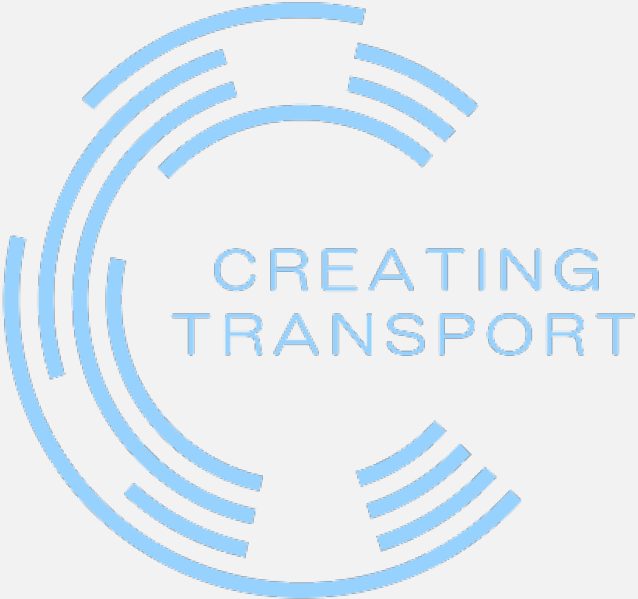




CREATING
TRANSPORT

2023年3月期 決算説明会

2023年4月27日

 **TRANCOM**
トランコム株式会社

(証券コード：9058)

業界環境

取り巻く環境

- ・ 上半期荷動きは回復基調であったが、下半期後半にかけて徐々に荷動きが鈍化
- ・ 2024年4月（2024年問題）まであと1年、「はこぶ」効率化のあり方に懸念が深まる

業績

2023年3月期 実績

- ・ 物流情報サービス事業の成約件数増と、海外事業（中国）での業務領域拡大により増収
- ・ LM事業の業界プラットフォーム構築に向けた費用及び物流情報サービス事業の支払い費用の増加、将来の事業成長に向けた人材・DX等先行投資費用を計上したことにより、営業利益は減益
- ・ 情報システム外販事業の譲渡益の一方、海外法人の減損損失により、純利益は減益

業績予想

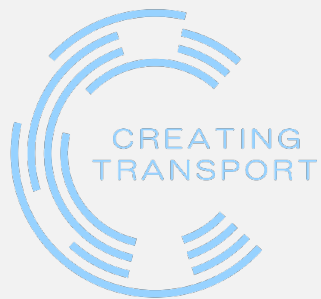
2024年3月期 業績予想

- ・ 売上高は3つの事業セグメントで増収を計画。物流情報サービス事業で人員増を計画。連結営業利益は、通期で前年同等額を予想

株主還元

株主還元

- ・ 2023年3月期年間配当は、2023年3月期実績に鑑み、当初公表の年間136円から修正年間128円（前期より2円増配）、22期連続増配
- ・ 2024年3月期年間配当予想は、年間132円（前期より4円増配）、23期連続増配を予定
- ・ 自己株式取得完了：取得した株式の総数 279,200株、取得総額 1,999,483,935円
2024年3月期は総額20億円（上限）、株数30万株（上限）で取得予定



2023年3月期 実績



(単位：百万円)

	2022年3月期			2023年3月期						計画値	
	上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比	通期見通し	計画比
売上高	79,716	83,267	162,984	83,889	5.2%	83,871	0.7%	167,760	2.9%	171,500	-2.2%
営業利益	3,959	4,031	7,990	3,660	-7.5%	3,777	-6.3%	7,438	-6.9%	7,800	-4.6%
(売上高比)	(5.0%)	(4.8%)	(4.9%)	(4.4%)	(-0.6P)	(4.5%)	(-0.3P)	(4.4%)	(-0.5P)	(4.5%)	(-0.1P)
経常利益	4,010	4,180	8,190	3,805	-5.1%	3,767	-9.9%	7,573	-7.5%	8,000	-5.3%
(売上高比)	(5.0%)	(5.0%)	(5.0%)	(4.5%)	(-0.5P)	(4.5%)	(-0.5P)	(4.5%)	(-0.5P)	(4.7%)	(-0.2P)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,600	2,691	5,291	3,320	27.7%	515	-80.9%	3,835	-27.5%	6,000	-36.1%
(売上高比)	(3.3%)	(3.2%)	(3.2%)	(4.0%)	(+0.7P)	(0.6%)	(-2.6P)	(2.3%)	(-0.9P)	(3.5%)	(-1.2P)

売上高

物流情報サービス事業の成約件数増加、海外事業での事業領域拡大により連結計2.9%の増収

営業利益

海外事業は利益貢献したが、物流情報サービス事業の支払い運賃の上昇、事業成長投資の増加により連結計7.5%の減益

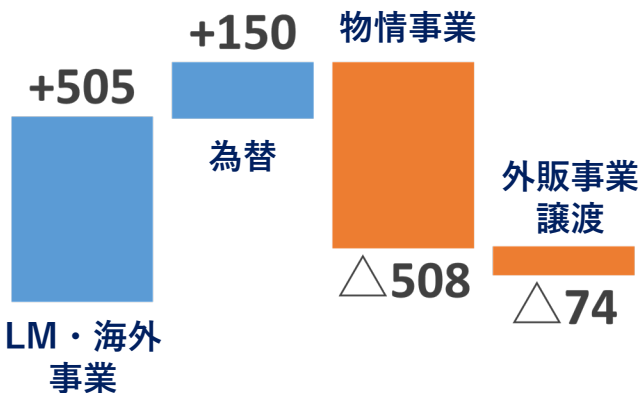
当期純利益

情報システム外販事業譲渡益1,343百万円、海外法人減損損失1,424百万円を計上し、連結計27.5%の減益

2023年3月期 営業利益増減

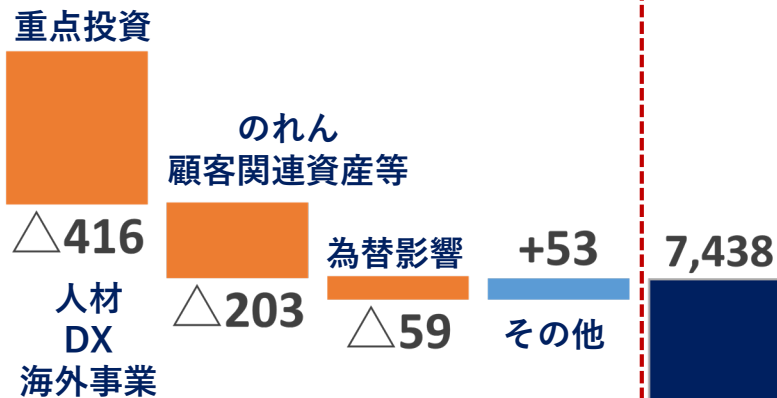
(単位：百万円)

営業総利益



将来に向けた人材・DX・海外展開への重点投資費用を計上し減益

一般管理費



2022年3月期

2023年3月期

物流DXの推進と強化を目的に



トランコムITS（システム子会社）外販事業をアクセンチュア株式会社へ事業譲渡

システムの設計・開発・保守事業等を行うトランコムITSの外販事業をアクセンチュア社へ事業譲渡し、新たなものづくりの構築及びそれを支える物流DXの実現に向けた共同ソリューション開発や、当社グループにおける新たなDXソリューションの構築にかかる協業を推進

特別利益：関係会社株式売却益

1,343百万円

シンガポール法人3社の減損損失

▶ ビルメンテナンス事業を行うSergent Services Pte Ltd

コロナ禍でビルメンテナンスサービスの需要が低迷

▶ 物流事業を行うStarlink Resources Pte. Ltd. 及びH&S Co Pte. Ltd.

主要顧客側の営業戦略変更により物流業務が縮小

現在の事業環境を踏まえ、今後の事業計画を見直した結果、当初想定されていた収益が見込めなくなったため、2023年3月期第4四半期連結会計期間において、同社に係るのれん及び顧客関連資産等について減損処理を行った

特別損失：減損損失

1,424百万円



2023年3月期 連結業績 〈セグメント別〉

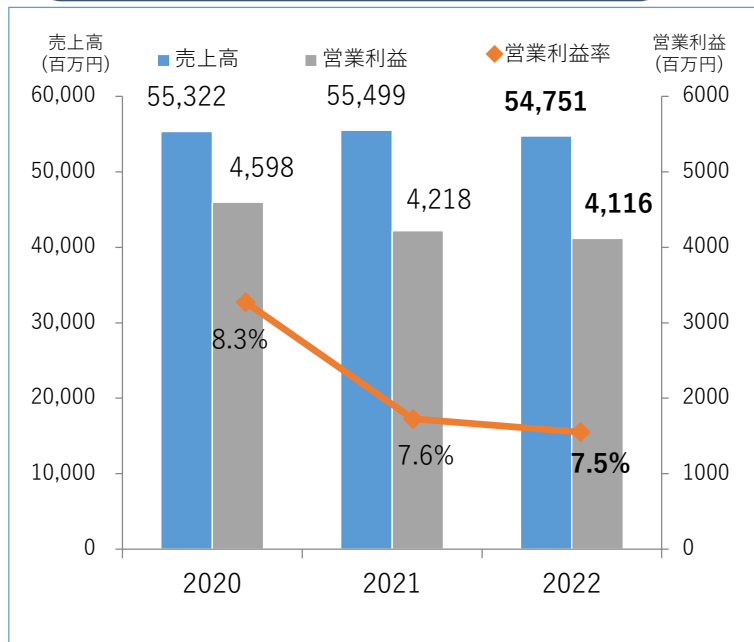
(単位：百万円)

		2022年3月期			2023年3月期						計画値	
		上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比	通期見通し	計画比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	27,891	27,607	55,499	27,265	-2.2%	27,486	-0.4%	54,751	-1.3%	55,150	-0.7%
	営業利益 (売上高比)	2,187 (7.8%)	2,030 (7.4%)	4,218 (7.6%)	2,005 (7.4%)	-8.3% (-0.4P)	2,110 (7.7%)	3.9% (+0.3P)	4,116 (7.5%)	-2.4% (-0.1P)	4,370 (7.9%)	-5.8% (-0.4P)
物流情報 サービス事業	売上高	43,381	46,095	89,477	46,207	6.5%	46,512	0.9%	92,720	3.6%	95,100	-2.5%
	営業利益 (売上高比)	1,531 (3.5%)	1,663 (3.6%)	3,194 (3.6%)	1,315 (2.8%)	-14.1% (-0.7P)	1,332 (2.9%)	-19.9% (-0.7P)	2,647 (2.9%)	-17.1% (-0.7P)	2,880 (3.0%)	-8.1% (-0.1P)
インダストリアル サポート事業	売上高	3,162	3,115	6,278	2,894	-8.5%	2,869	-7.9%	5,764	-8.2%	6,110	-5.7%
	営業利益 (売上高比)	162 (5.1%)	155 (5.0%)	318 (5.1%)	153 (5.3%)	-5.5% (+0.2P)	120 (4.2%)	-22.4% (-0.8P)	274 (4.8%)	-13.8% (-0.3P)	350 (5.7%)	-21.6% (-0.9P)
その他	売上高	6,043	7,216	13,259	8,289	37.2%	7,896	9.4%	16,185	22.1%	16,670	-2.9%
	営業利益 (売上高比)	149 (2.5%)	257 (3.6%)	407 (3.1%)	360 (4.3%)	140.5% (+1.8P)	341 (4.3%)	32.8% (+0.7P)	701 (4.3%)	72.4% (+1.2P)	470 (2.8%)	49.3% (+1.5P)
連結消去	売上高	-763	-767	-1,530	-767	-	-893	-	-1,661	-	-1,530	-
	営業利益 (売上高比)	-71 (-)	-76 (-)	-147 (-)	-174 (-)	-	-128 (-)	-	-302 (-)	-	-270 (-)	-
連結合計	売上高	79,716	83,267	162,984	83,889	5.2%	83,871	0.7%	167,760	2.9%	171,500	-2.2%
	営業利益 (売上高比)	3,959 (5.0%)	4,031 (4.8%)	7,990 (4.9%)	3,660 (4.4%)	-7.5% (-0.6P)	3,777 (4.5%)	-6.3% (-0.3P)	7,438 (4.4%)	-6.9% (-0.5P)	7,800 (4.5%)	-4.6% (-0.1P)

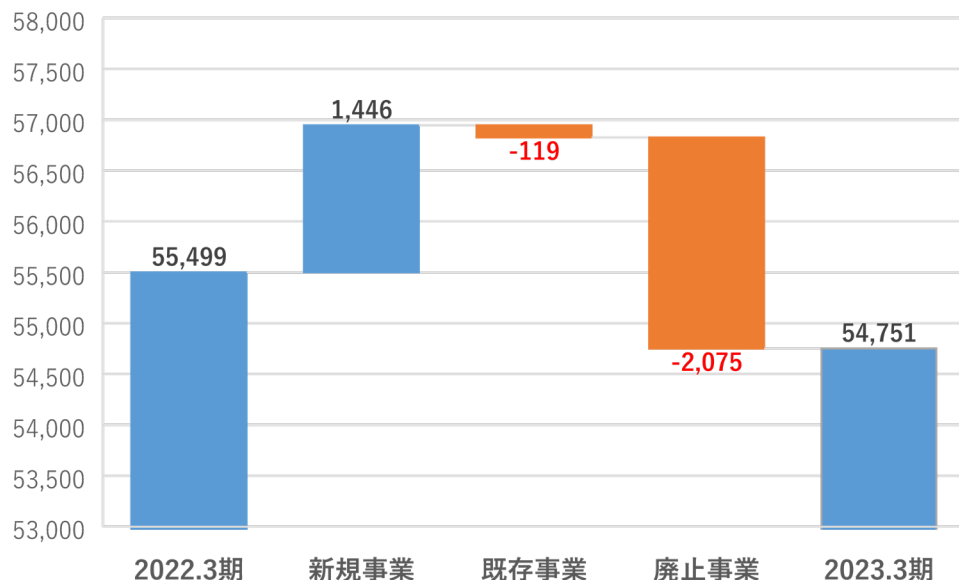


2023年3月期 連結業績 〈LM事業〉

売上高・営業利益・営業利益率



売上高増減 単位：百万円



売上高

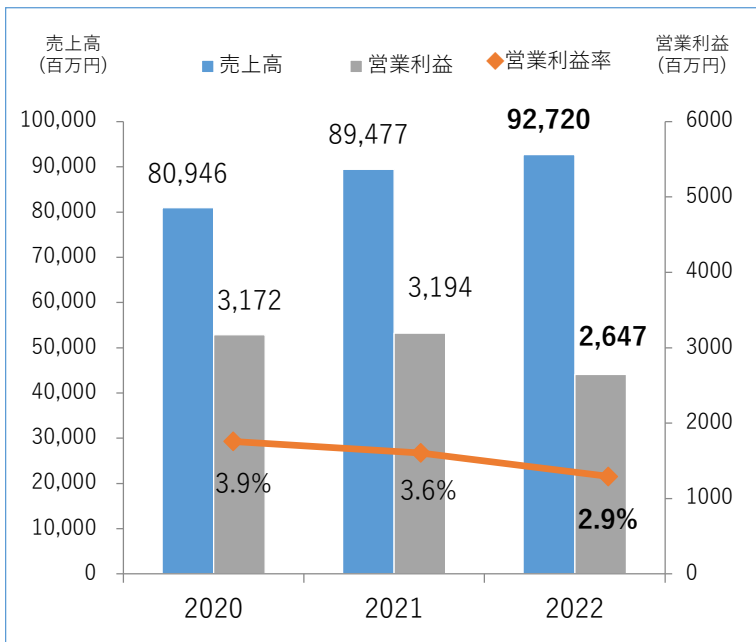
前期及び今期新規拠点開設による増収はあったが、政策的な拠点廃止の影響により減収（前期比 **-1.3%減**）

営業利益

今期新規開設拠点の初期費用及び「はこぶ」に向けた先行投資費用の計上により減益（前期比 **-2.4%減**）

2023年3月期 連結業績 〈物流情報サービス事業〉

売上高・営業利益・営業利益率



主な指標

前年同期比	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q
貨物情報数	14.2%増	13.2%増	8.5%増	3.3%増
空車情報数	11.2%減	5.3%減	9.4%減	0.5%減
成約件数	4.8%増	4.7%増	0.9%減	0.05%増

	2021年3月末	2022年3月末	2023年3月末
生産性人員	578名	566名	612名
専属車両台数	1,570台	1,658台	1,632台
拠点数	41拠点	45拠点	49拠点

2022年4月	関西特車センター	特殊車両を専門に対応するセンター
10月	福山情報センター	
11月	Cold chainセンター 神戸ドレージセンター	冷凍・冷蔵車両を専門に対応するセンター

売上高

成約件数増加（前期比2.1%増）、運賃単価上昇（前期比1.1%増）
したことにより増収（前期比3.6%増）

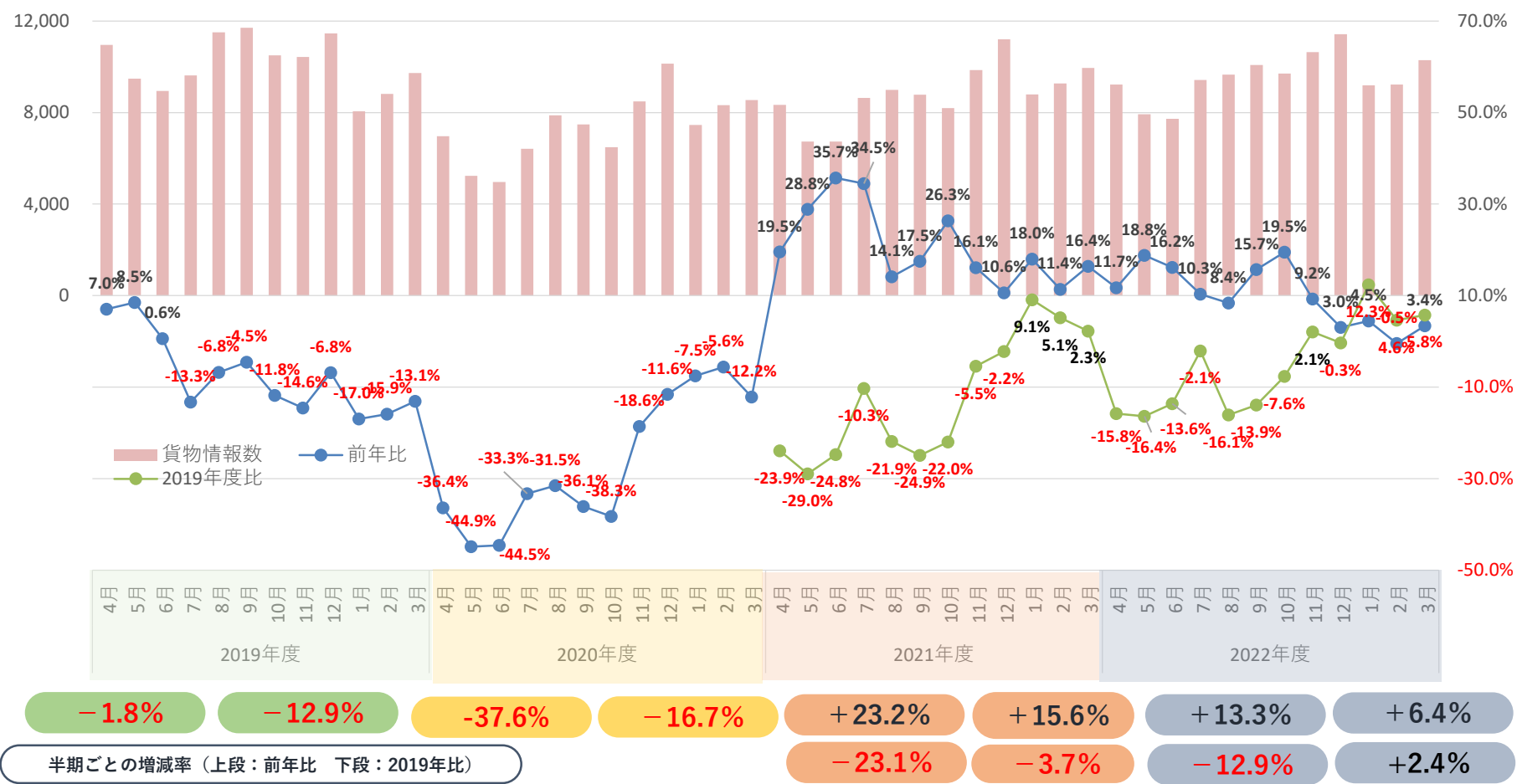
営業利益

燃料費高騰等による適正な運賃単価の支払いを進めたこと
により減益（前期比－17.1%減）

物流情報サービス事業状況

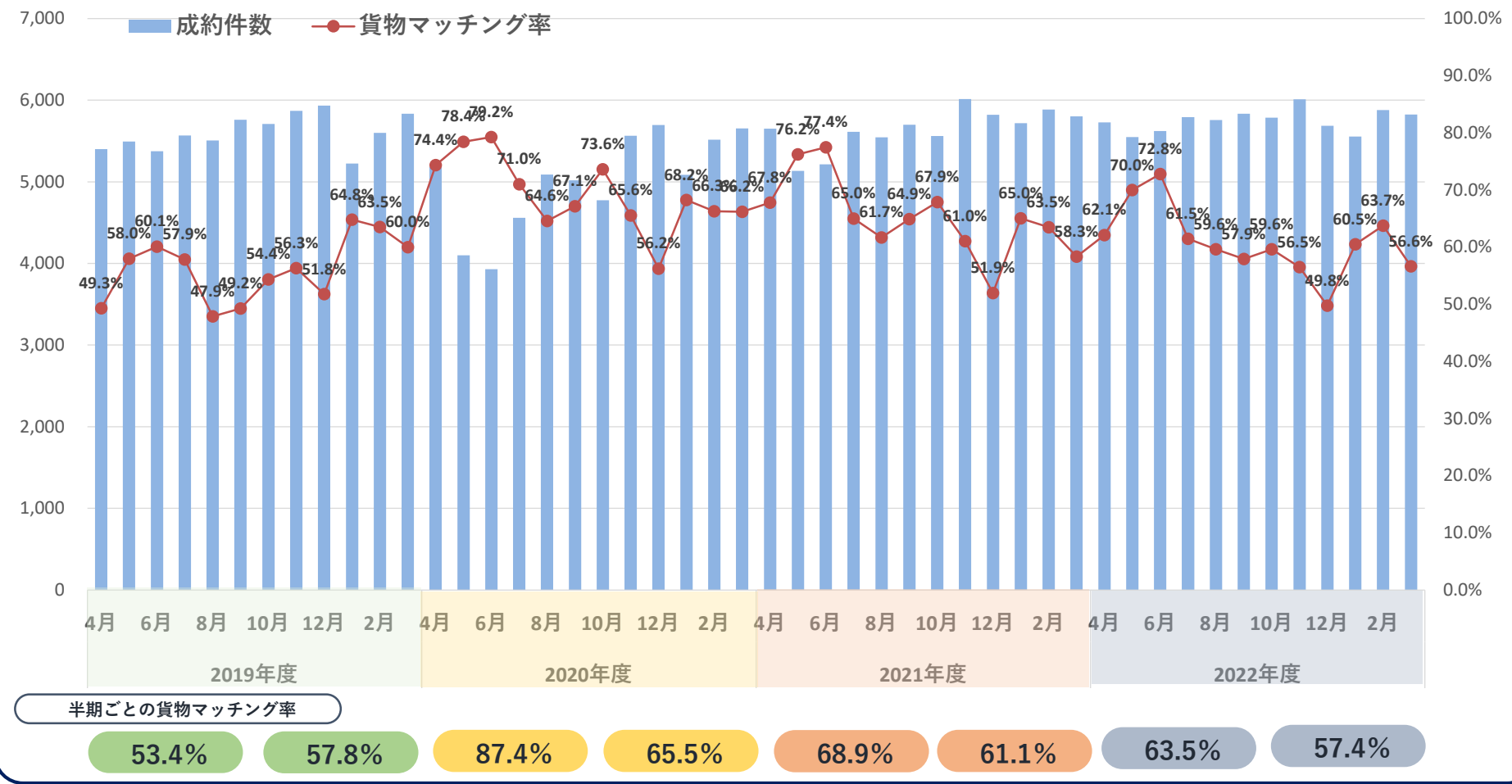


2019年4月以降の日当たり貨物情報件数と、前年・前々年同月増減率



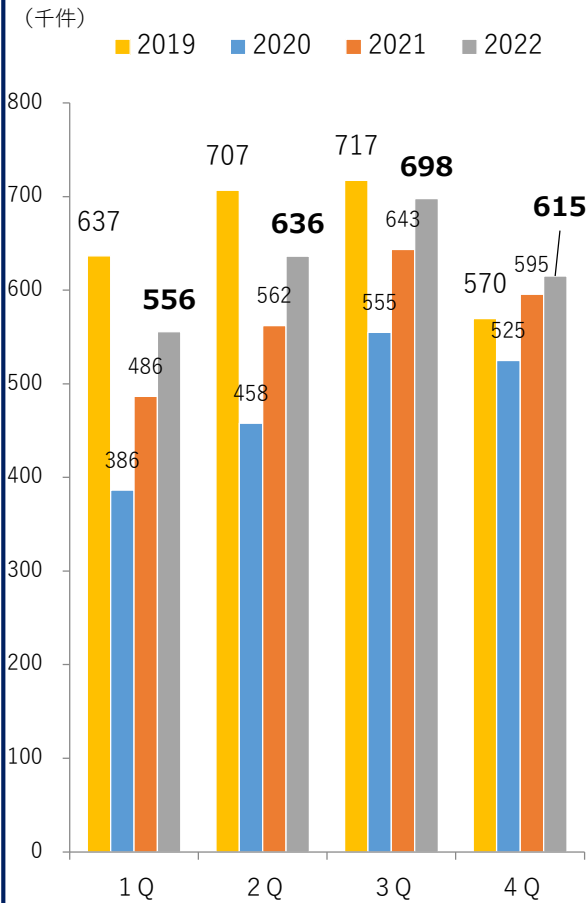


2019年4月以降の日当たり成約件数と、貨物マッチング率

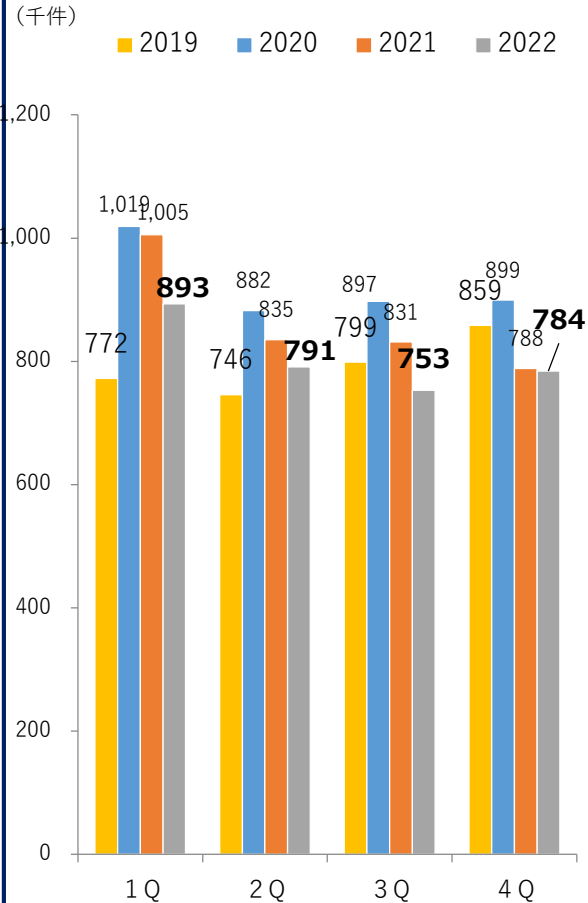


物流情報サービス事業 情報数

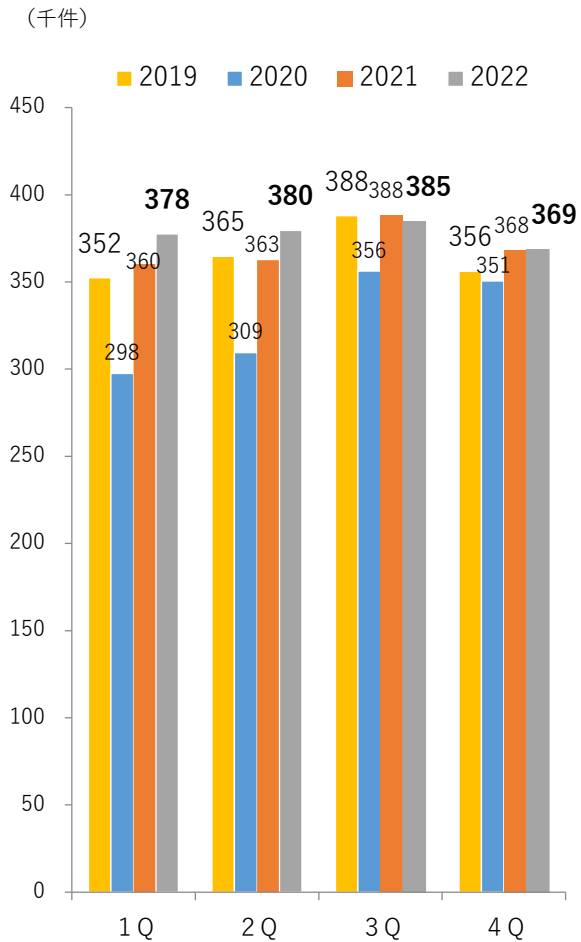
貨物情報数



空車情報数



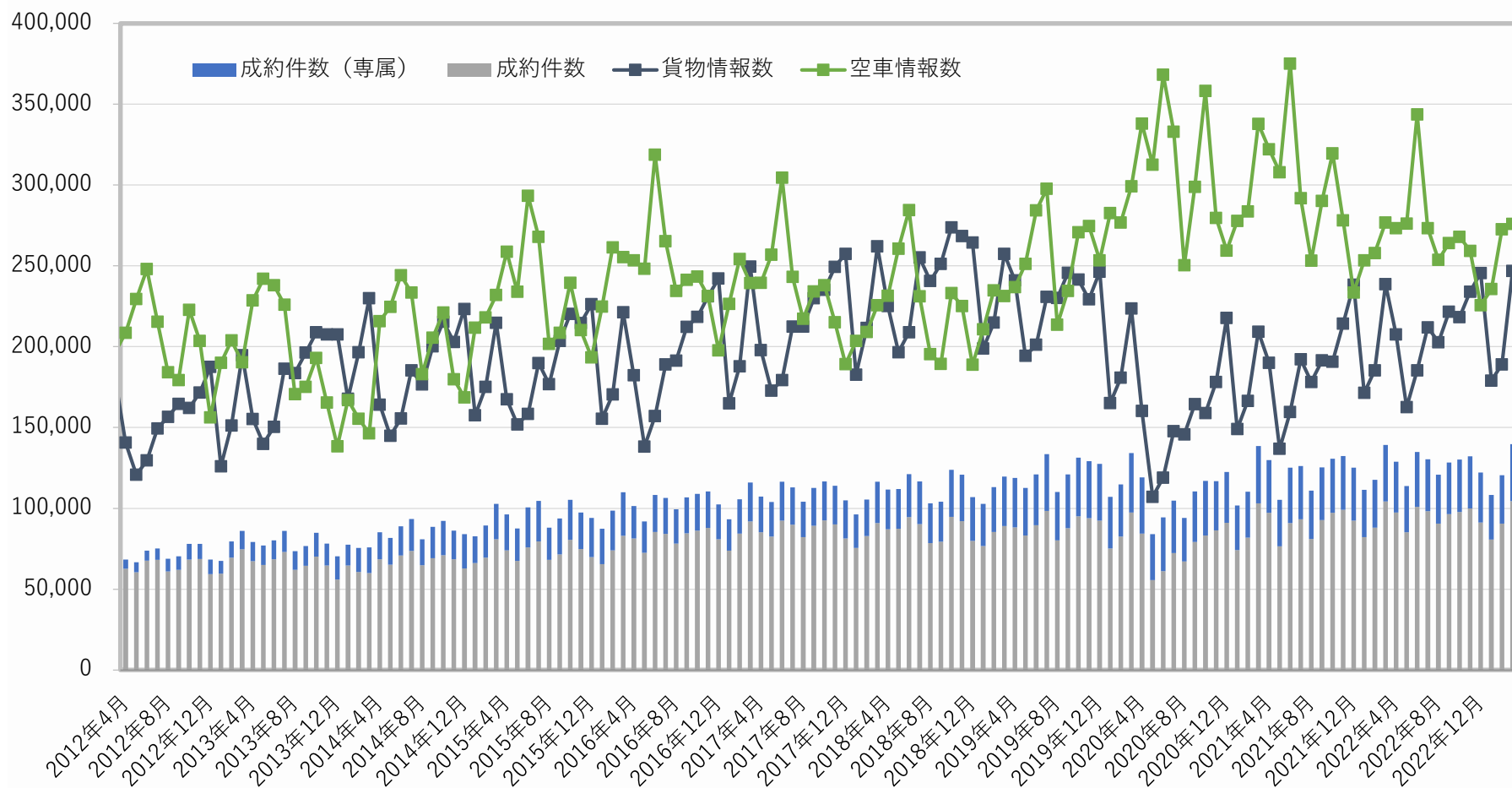
成約件数



(参考) 物流情報サービス事業 情報数推移

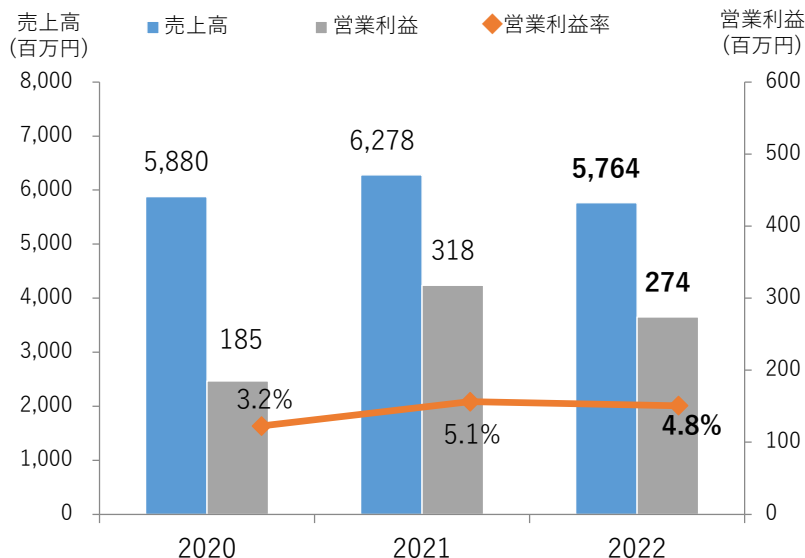


2009年以降の情報件数推移

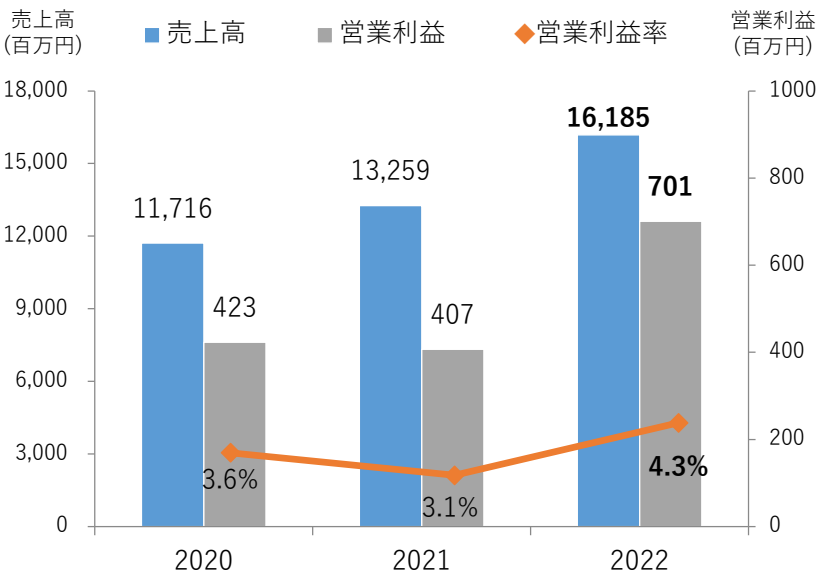


2023年3月期 連結業績 〈インダストリアルサポート事業/その他〉

インダストリアルサポート事業



その他 (海外事業・自動車整備事業等)



業績

廃止拠点の影響により
 減収 (前期比 **-8.2%減**)
 減益 (前期比 **-13.8%減**)

業績

中国及びタイでの事業拡大
 及び為替により
 増収 (前期比 **22.1%増**)
 増益 (前期比 **72.4%増**)

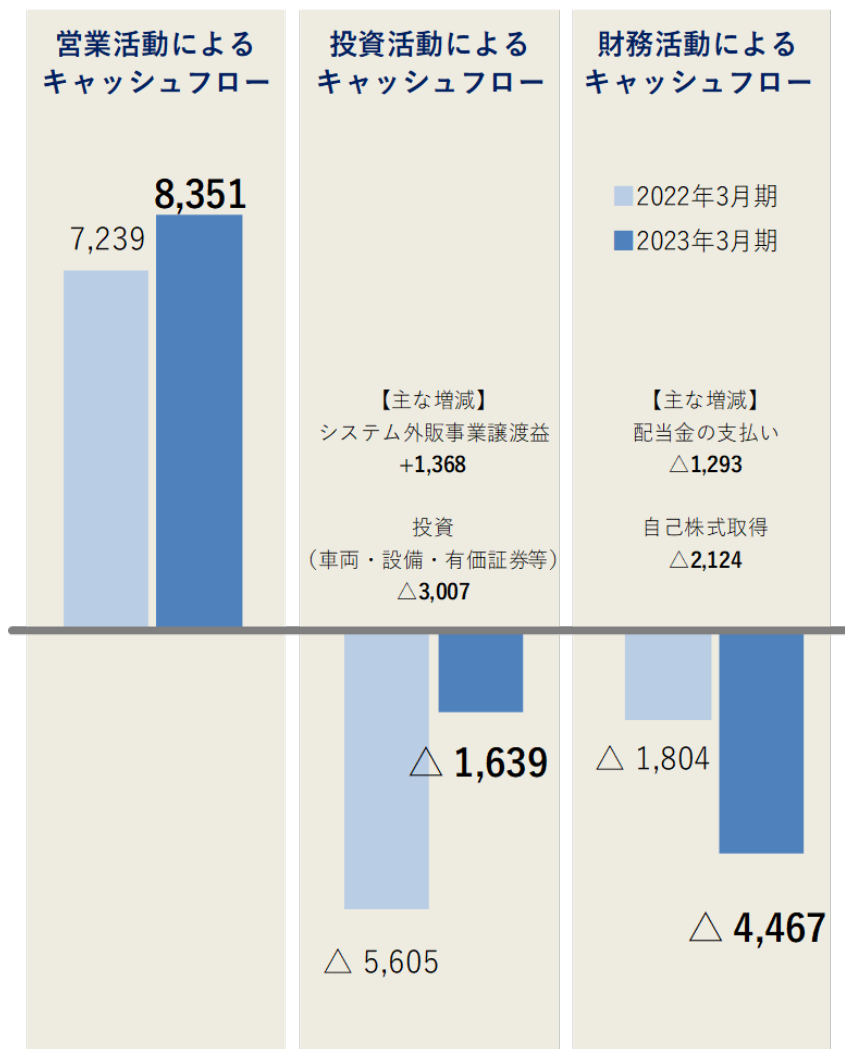
■為替		2022年3月末	2023年3月末
中国	円/元	18.06円	19.01
タイ	円/THB	3.43円	3.8
シンガポール	円/SGD	85.15円	98.76

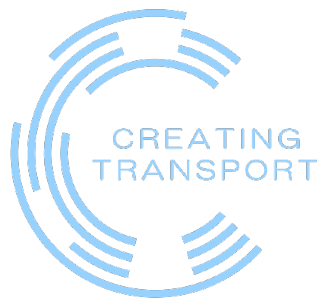
2023年3月期 連結貸借対照表

連結貸借対照表 単位：百万円

流動資産	流動負債
48,991	19,081
(+ 2,191)	(+196)
	固定負債
	4,010
	(+823)
	純資産
	48,953
	(+ 1,239)
固定資産	
23,053	
(+66)	

連結キャッシュフロー計算書 単位：百万円





2024年3月期 通期業績予想

2024年3月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	2023年3月期			2024年3月期 (予想)						(参考) 2020年3月期
	上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比	
売上高	83,889	83,871	167,760	85,150	1.5%	89,420	6.6%	174,570	4.1%	163,463
営業利益	3,660	3,777	7,438	3,635	-0.7%	3,865	2.3%	7,500	0.8%	7,566
(売上高比)	(4.4%)	(4.5%)	(4.4%)	(4.3%)	(-0.1P)	(4.3%)	(-0.2P)	(4.3%)	(-0.1P)	(4.6%)
経常利益	3,805	3,767	7,573	3,690	-3.0%	3,910	3.8%	7,600	0.4%	7,417
(売上高比)	(4.5%)	(4.5%)	(4.5%)	(4.3%)	(-0.2P)	(4.4%)	(-0.1P)	(4.4%)	(-0.1P)	(4.5%)
親会社株主に帰属する当期純利益	3,320	515	3,835	2,426	-26.9%	2,574	399.7%	5,000	30.4%	4,909
(売上高比)	(4.0%)	(0.6%)	(2.3%)	(2.8%)	(-1.2P)	(2.9%)	(+2.3P)	(2.9%)	(+0.6P)	(3.0%)

売上高

ロジスティクスマネジメント事業及び物流情報サービス事業の増加により通期連結計4.1%増の増収計画

営業利益

ロジスティクスマネジメント事業の新規拠点稼働の初期費用計上により連結計0.8%増の微増益計画

当期純利益

前期に特別損失を計上したことから連結計30.4%の増益計画

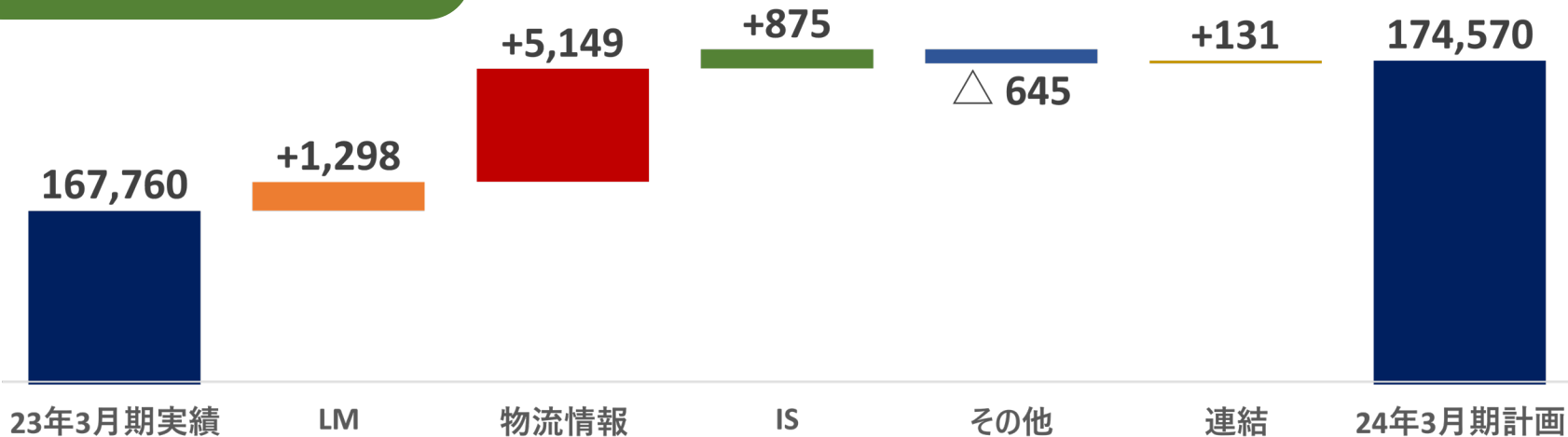
2024年3月期 連結業績予想 〈セグメント別〉

(単位：百万円)

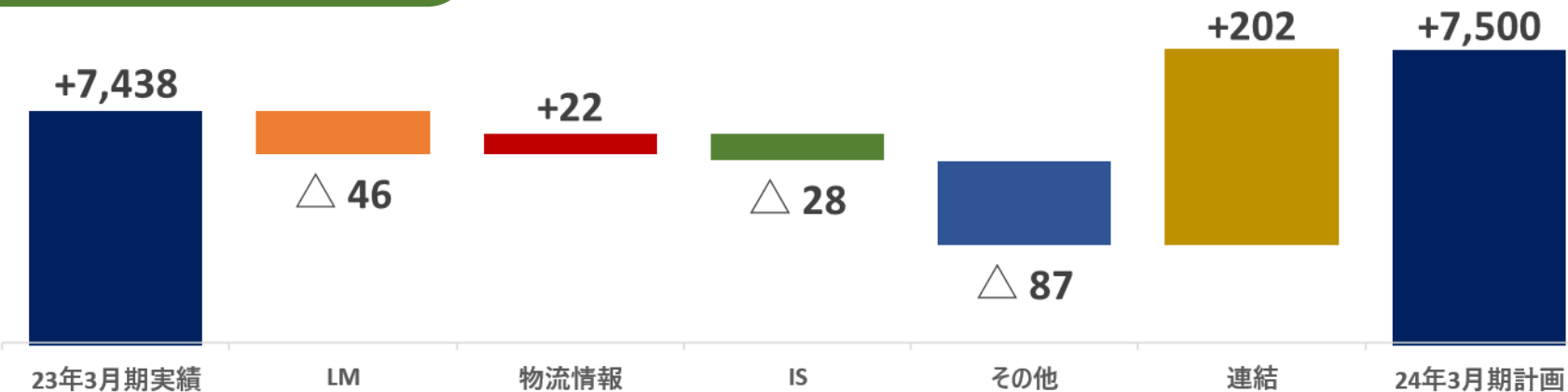
		2023年3月期			2024年3月期 (予想)					
		上半期	下半期	通期	上半期	前期比	下半期	前期比	通期	前期比
ロジスティクス マネジメント事業	売上高	27,265	27,486	54,751	27,650	1.4%	28,400	3.3%	56,050	2.4%
	営業利益 (売上高比)	2,005 (7.4%)	2,110 (7.7%)	4,116 (7.5%)	2,040 (7.4%)	1.7% (+0.0P)	2,030 (7.1%)	-3.8% (-0.6P)	4,070 (7.3%)	-1.1% (-0.2P)
物流情報 サービス事業	売上高	46,207	46,512	92,720	47,730	3.3%	50,140	7.8%	97,870	5.6%
	営業利益 (売上高比)	1,315 (2.8%)	1,332 (2.9%)	2,647 (2.9%)	1,260 (2.6%)	-4.2% (-0.2P)	1,410 (2.8%)	5.8% (-0.1P)	2,670 (2.7%)	0.8% (-0.2P)
インダストリアル サポート事業	売上高	2,894	2,869	5,764	3,050	5.4%	3,590	25.1%	6,640	15.2%
	営業利益 (売上高比)	153 (5.3%)	120 (4.2%)	274 (4.8%)	74 (2.4%)	-51.8% (-2.9P)	172 (4.8%)	42.2% (+0.6P)	246 (3.7%)	-10.4% (-1.1P)
その他	売上高	8,289	7,896	16,185	7,480	-9.8%	8,060	2.1%	15,540	-4.0%
	営業利益 (売上高比)	360 (4.3%)	341 (4.3%)	701 (4.3%)	311 (4.2%)	-13.6% (-0.1P)	303 (3.8%)	-11.3% (-0.5P)	614 (4.0%)	-12.5% (-0.3P)
連結消去	売上高	-767	-893	-1,661	-760	-	-770	-	-1,530	-
	営業利益 (売上高比)	-174 -	-128 -	-302 -	-50 -	- -	-50 -	- -	-100 -	- -
連結合計	売上高	83,889	83,871	167,760	85,150	1.5%	89,420	6.6%	174,570	4.1%
	営業利益 (売上高比)	3,660 (4.4%)	3,777 (4.5%)	7,438 (4.4%)	3,635 (4.3%)	-0.7% (-0.1P)	3,865 (4.3%)	2.3% (-0.2P)	7,500 (4.3%)	0.8% (-0.1P)

2024年3月期 [売上高・営業利益増減]

売上高 単位：百万円



営業利益 単位：百万円



事業成長に向けて今期取り組むこと

LM
事業

盤石な事業基盤の構築

詳細

- 1 コスト上昇への適切な対応
- 2 顧客の変化する物流ニーズへの柔軟な対応
- 3 人材体制の強化

LM
事業

事業拡大と物流サービスの質の向上

- 1 アカウント営業強化による取引の深耕、新たな物流業務の獲得
- 2 業界別プラットフォーム構築による「はこぶ」量の増大と
共同配送サービスの強化
- 3 物流センター業務の自動化推進

P22～23

業界別プラットフォーム構想 1

戦略
1

業界（日用品・食品）別プラットフォーム構想：関東から中部・関西へ

中部エリア

愛知(一宮)

2023年10月
開設予定



住所	愛知県一宮市
最寄りIC	一宮西IC 約4km
床面積	9,519坪

日用品・加食
プラットフォーム

関東エリア

埼玉(久喜)

既存拠点

菓子
プラットフォーム

神奈川(厚木)

2023年7月
開設予定



住所	神奈川県愛甲郡愛川町
最寄りIC	圏央道相模原愛川IC 約3km
床面積	7,461坪

日用品・菓子・加食
プラットフォーム

埼玉(蓮田)

2021年7月
稼働



住所	埼玉県蓮田市
最寄りIC	圏央道白岡菖蒲IC 約3km
床面積	23,787坪

日用品
プラットフォーム

関西エリア

時期未定

日用品
プラットフォーム

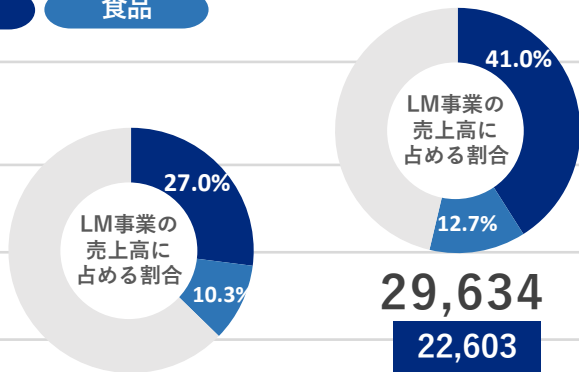


業界別プラットフォーム構想 2

日用品/食品（製造業）の売上推移 単位：百万円

日用品

食品



17,450

12,645

2016

29,634

22,603

7,031

2022

関東から全国への展開 単位：百万円

日用品

食品

50,000

38,000

他エリア
日用品PF

関東
日用品PF

12,000

2025

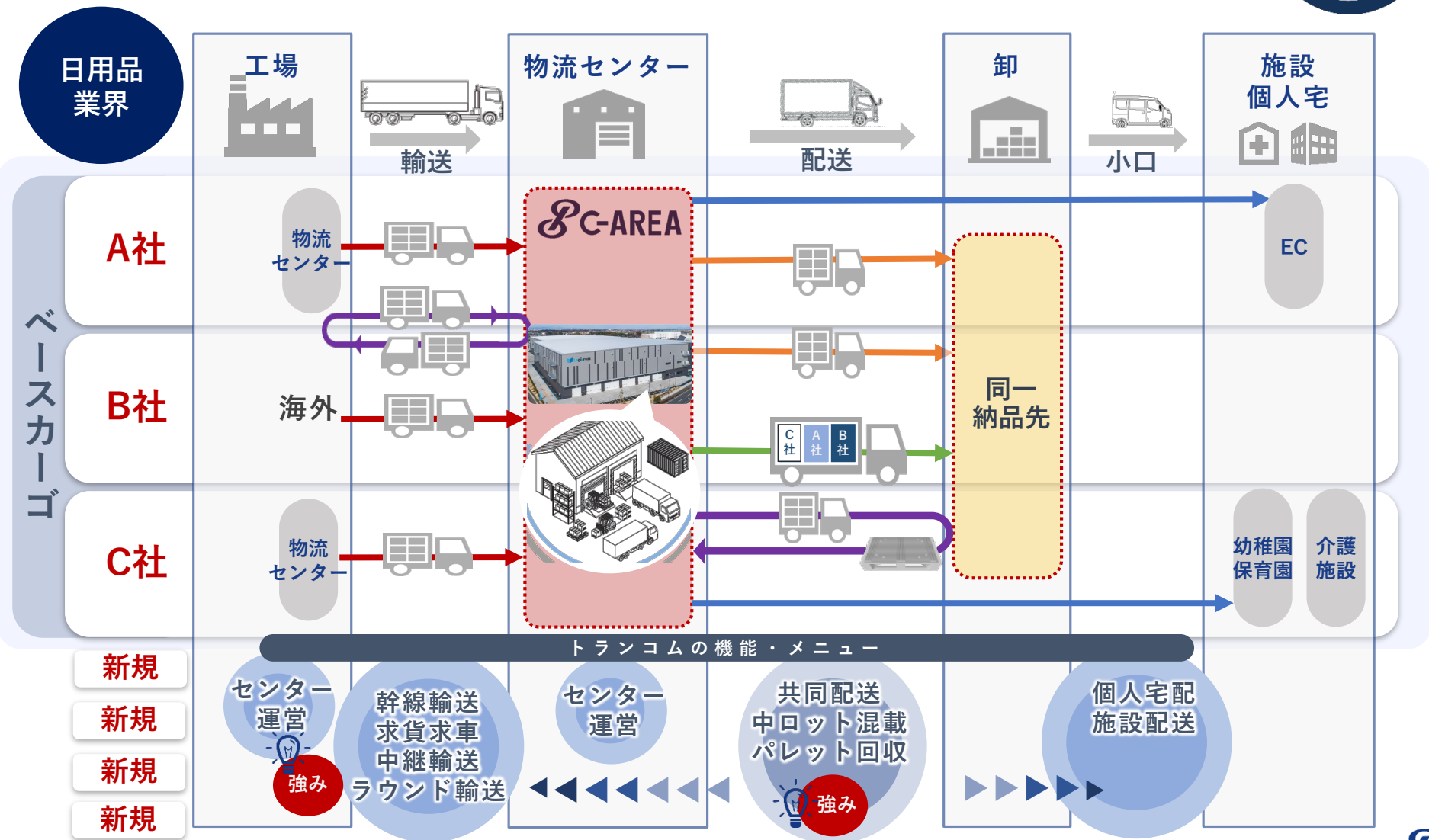
22,603

他エリア
関東PF

7,031

2022

業界別プラットフォーム構想3（参考）



事業成長に向けて今期取り組むこと

物情
事業

更なる事業成長、対応力の向上

詳細

1 様々な輸送ニーズへの対応

P26

2 新規拠点（情報センター）開設によるカバーエリアの拡充

P27

3 営業強化による輸送量の拡大

物情
事業

収益基盤の強化

1 輸送パートナー企業との連携強化

P28

2 マッチング生産性の向上

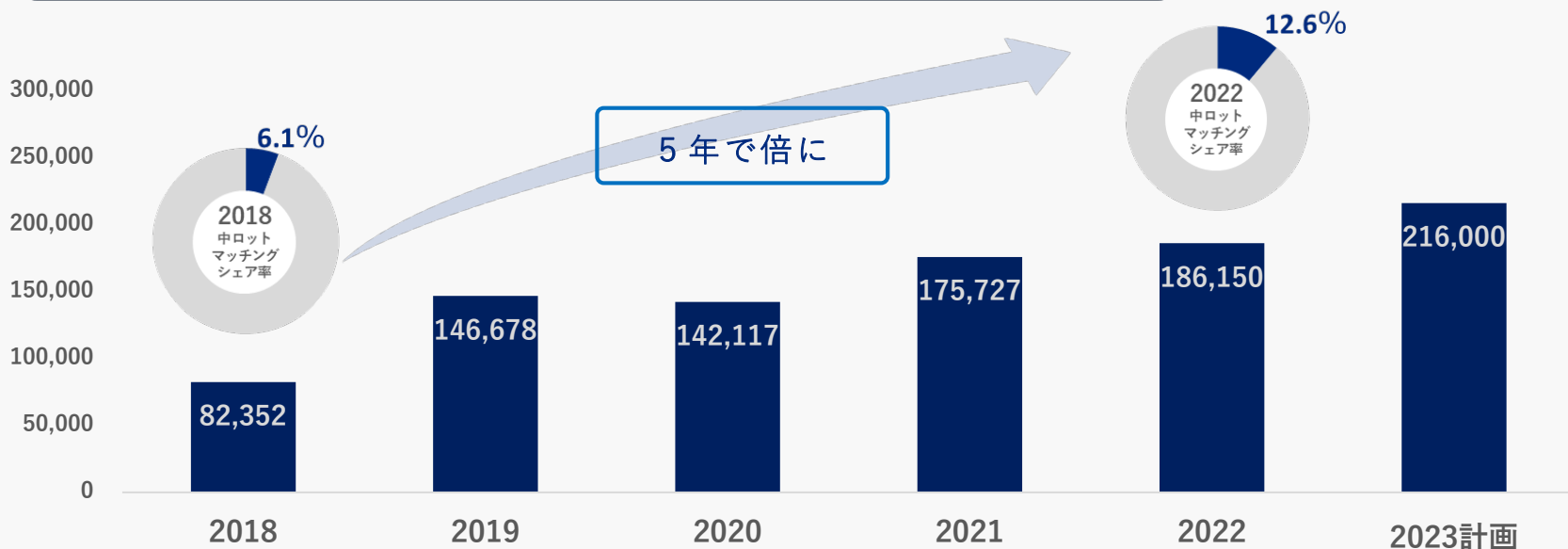
物流情報サービス事業成長に向けて

事業
拡大

様々な輸送ニーズへの対応

チャーターセンターと中ロットセンターを統合 ▶ 中ロット貨物マッチングの増加

中ロット貨物マッチング数と全マッチングに占める中ロットマッチング数の割合

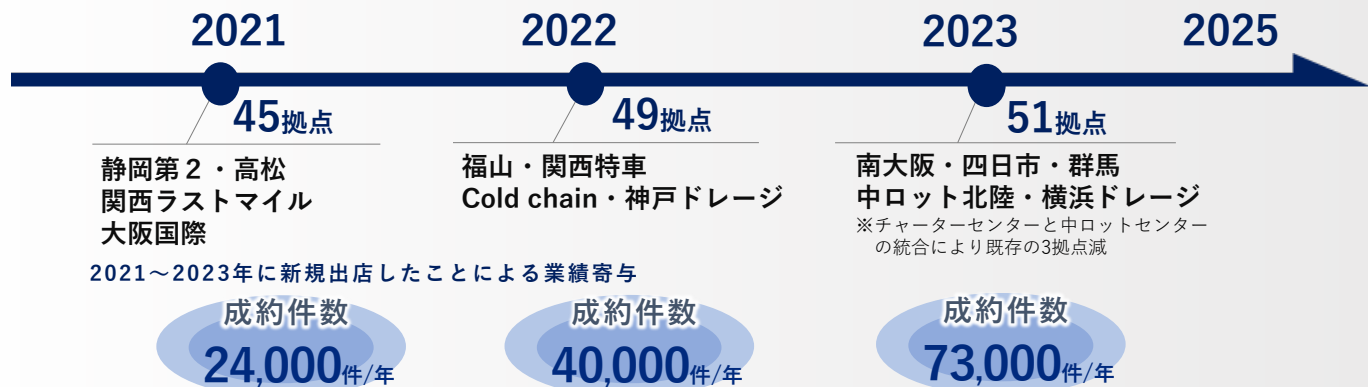


輸送の効率化ニーズの高まり ▶ 中ロット輸送は今後も需要増に

物流情報サービス事業成長に向けて

事業
拡大

新規拠点（情報センター）開設によるカバーエリアの拡充



日本全国で
様々な
スポット貨物
輸送ニーズに
対応可能



事業
拡大

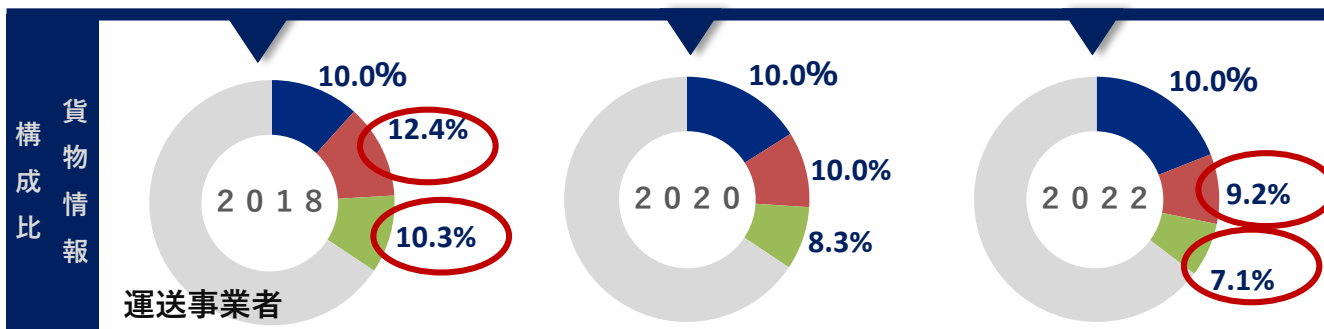
営業強化による輸送量の拡大

製造メーカー

物流子会社

路線会社

へのアプローチ強化



輸送ニーズが
減少した荷主へ
営業強化



物流情報サービス事業成長に向けて

収益強化

輸送パートナー企業との連携強化

物価高、燃料費高騰等の課題に対し、協働で対応を進める

パートナー企業とのコミュニケーション強化
荷主とも協働で課題解決を進める

収益強化

マッチングの生産性向上

アジャスター育成・DX導入による、一人当たりマッチング件数の増加

2日後に、地点Aから地点Bに貨物を運んでほしい。



荷主

現時点で2日後の空車がどれほど出るかわからない...

条件に合った車両が見つかるか不安...

マッチングの条件が複雑...

【AI導入前】



アジャスター

かしこまりました。手配いたします。

AIが学習した過去傾向から

予想空車量

ルート

過去実績

対象貨物とマッチング出来る空車が見つかる可能性をスコア化

荷請け判断のスピードがアップ

マッチングロス削減、生産性向上

高スコアだから荷請けしよう！



アジャスター

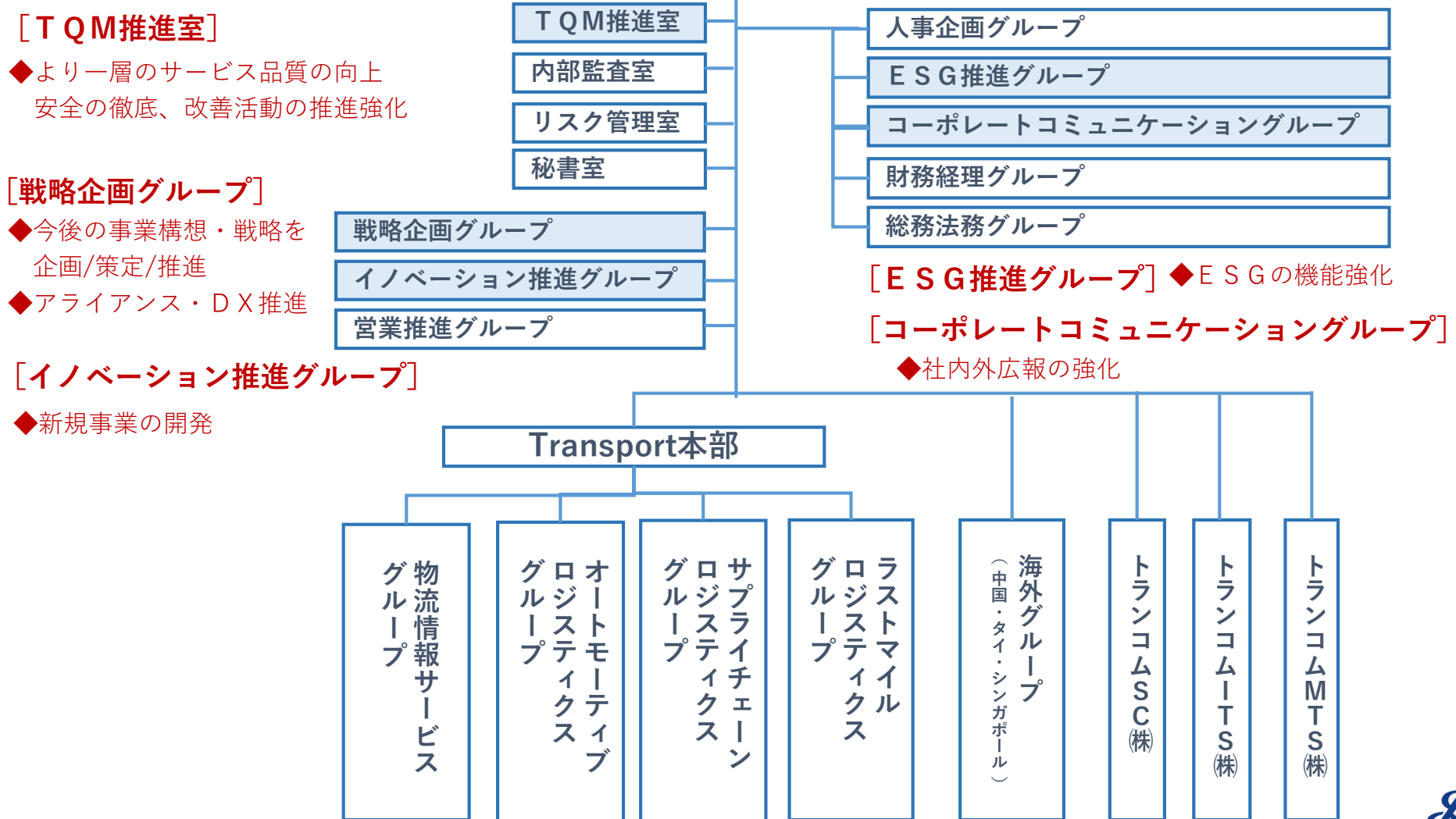
AI導入による
マッチング数
増加

10%

トランコムグループ組織再編（2023年4月1日時点）



赤字：2022年度新設部署



株主還元を更に意識し、機動的な資本政策を実施

配当方針

事業成長を目的とした積極投資を行う一方で、株主への継続的な増配を実施する。

- ◆ 2023年3月期 年間配当金 128円（前期より+2円）
- ◆ 2024年3月期 年間配当金 132円（前期より+4円） 予定

2024年3月期で23年連続増配予定

自己株式取得

理由：株主への利益還元と経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行できるようにするため

2023年3月期

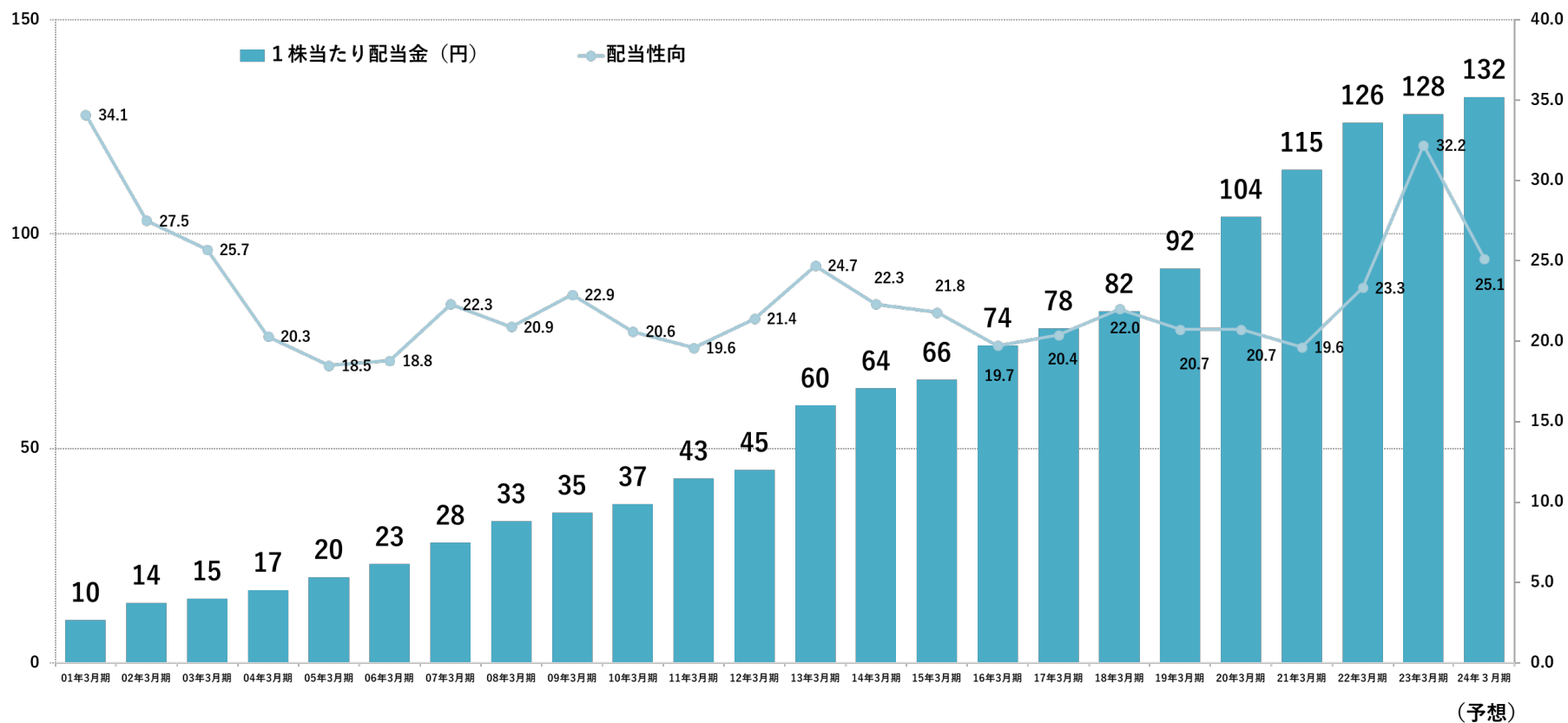
公表：20億円、29万株を上限とする自己株式取得
（期間：2022年5月2日～2023年2月29日）

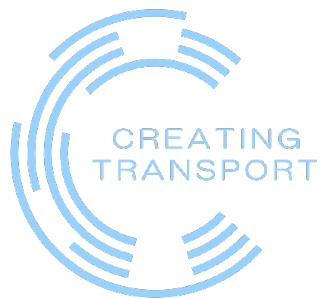
取得完了：19億99百万円、279,200株

2024年3月期

公表：20億円、30万株を上限とする自己株式取得
（期間：2023年5月8日～2024年3月29日）
（発行済株式総数（自己株式除く）に対する割合3.1%）

2000年以降の1株当たり配当金/配当性向





参考資料

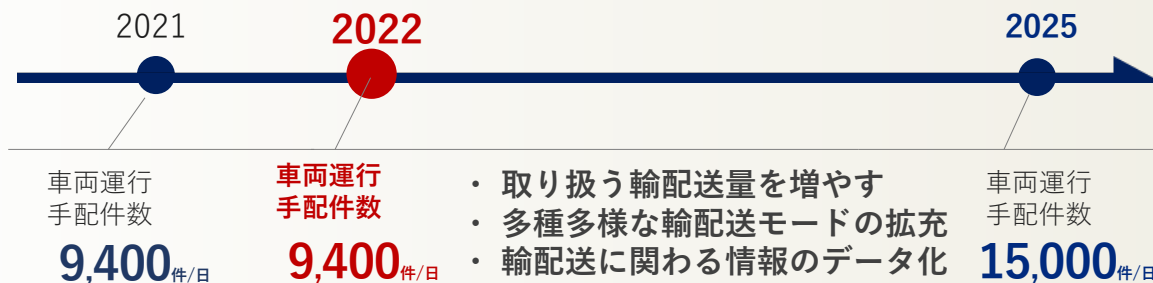


TRANCOM VISION 2025

TRANCOM VISION2025



はこぶ
を
創造する



2030
「はこぶ」
プラットフォームの提供

広く多くの企業に
利用される最適な
「はこぶ」の実現

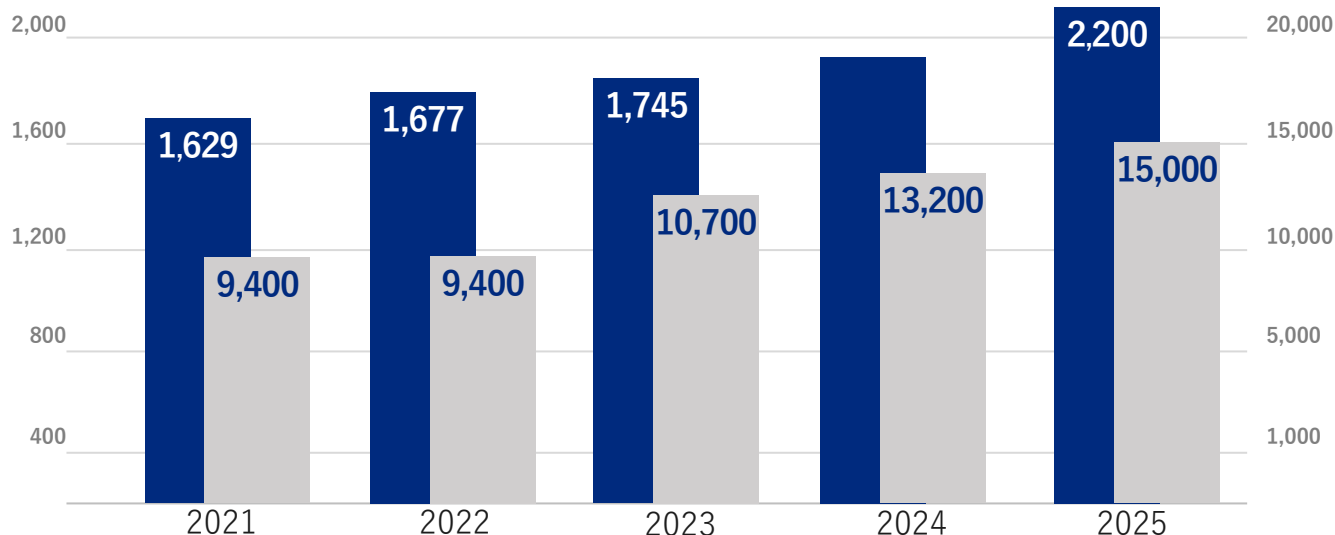
車両運行手配件数
23,000 件/日

売上計画

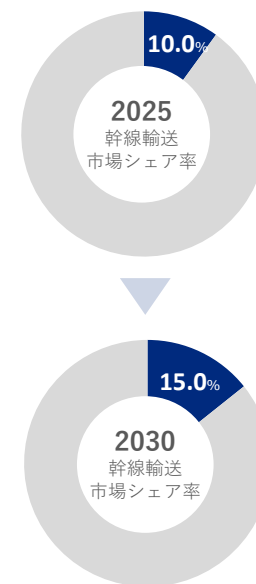
単位：億円

車両運行手配件数

単位：件



幹線輸送市場シェア比率



TRANCOM VISION 2025 主要戦略

あらゆる経営資源をTransportに集中

Transport へ注力

1. 輸配送能力の増大・向上 / 多種多様な輸配送モードの拡充
2. 国内における取り扱う輸送量の増大
3. 求貨求車サービスの事業高度化
4. 他社との協業によるイノベーション強化
5. デジタル化の進化に向けたシステム開発/他社とのデータ関係構築

既存事業の 基盤構築

6. ロジスティクスマネジメント事業の強固な事業基盤構築
7. ASEAN地区での成長強化

成長基盤の 再構築

8. 人材・組織のさらなる強化/多様化
9. ESG/SDGs経営への進化

輸配送量
増大

営業

はこぶ機能の強化・拡大

既存顧客深耕

工業品、化学品など新たな業界

輸配送モードの
拡充

パートナー

はこぶ能力の増大

専属車両増便、輸送パートナーとの関係強化

機能、対応力の強化

拠点

プラットフォーム構築
の拠点開発

C-AREA（戦略拠点） C-LINK（中継拠点）

全国消費地へデポ拠点

宅配デポ拠点

サービス

様々な輸配送への対応

輸送：求貨求車、中ロット、中継輸送、特殊車両、冷凍冷蔵

配送：共同配送

ラストマイル

トランコムの変革



創業期

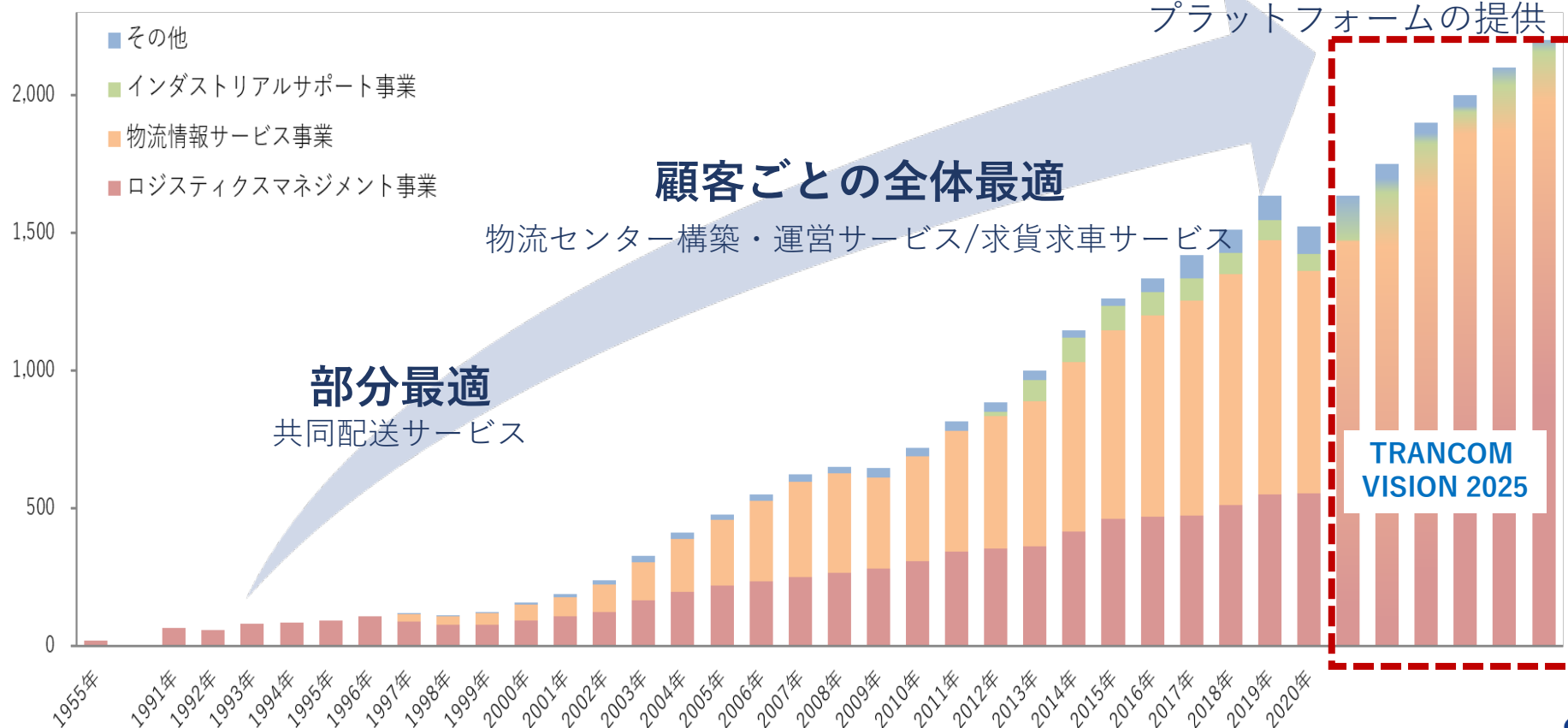
第1変革期

第2変革期

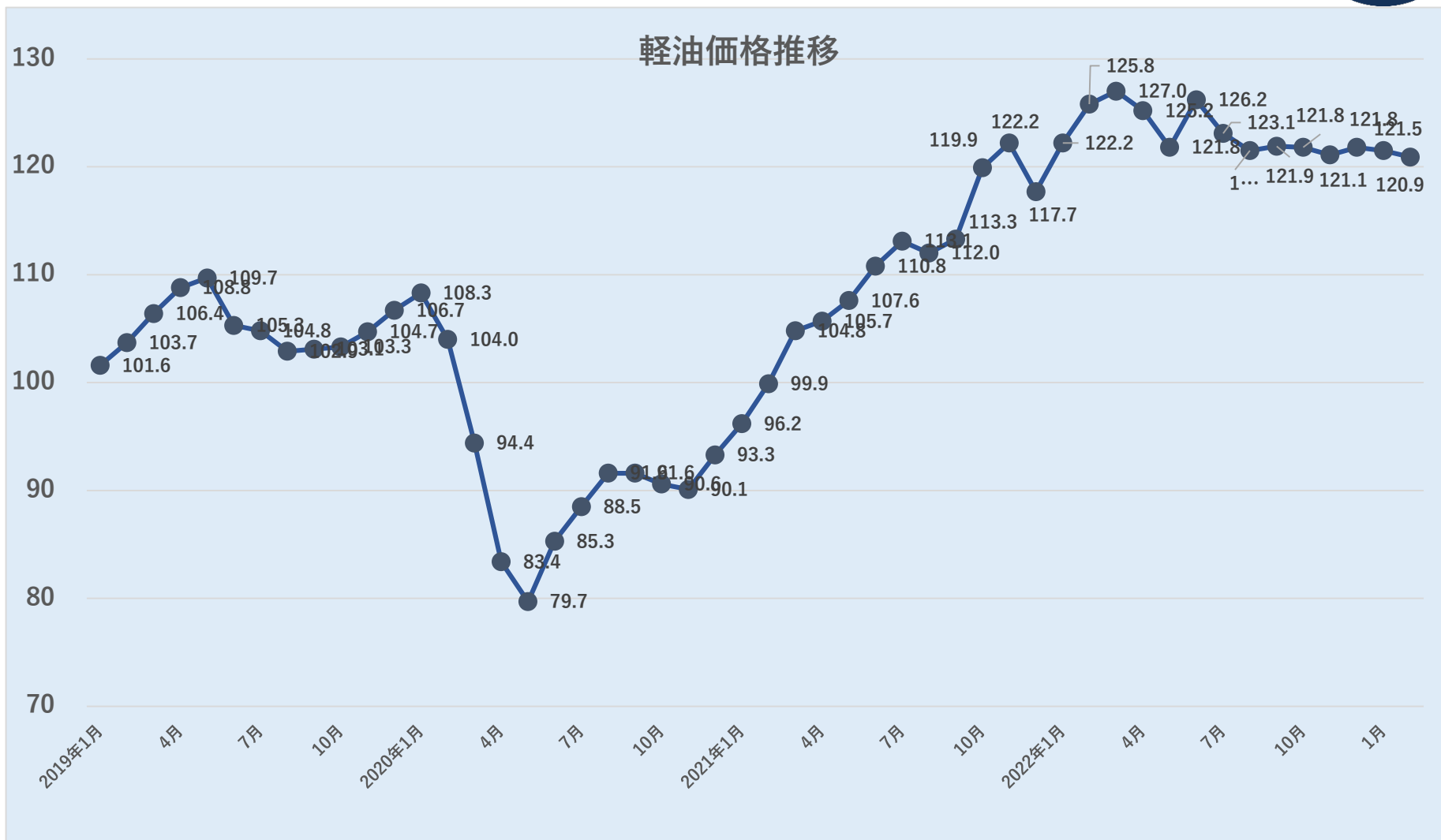
第3変革期

創業以降の売上高推移

(億円)



燃料単価推移



出所：石油情報センター、大口需要者向け軽油ローリー価格



物流業界全体

約24兆円

トラック運送事業

約14.4兆円

登録トラック台数

約1,292,000台

宅配事業

約2.4兆円

登録トラック台数

約288,000台

出所：日本物流団体連合会「数字で見る物流2019」
一般財団法人 自動車検査登録情報協会「車種別（詳細）保有台数表」

本資料及びIR関係のお問い合わせにつきましては、
下記までお願いいたします。

トランコム株式会社
YOUR LOGISTICS COLLABORATOR

MA I L : ir_info@trancom.co.jp
TEL.052-939-2011 FAX.052-939-2015
www.trancom.co.jp



コーポレートコミュニケーショングループ
T E L : 052-939-2023 F A X : 052-939-2015

※ 本資料には、作成時点における情報を基に予測した事業の将来見通しなどが含まれております。
将来における変動要素やリスク要因などにより、異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

